

10月定例記者会見の概要

1 日時 令和元年10月7日(月)9時30分～10時30分

2 場所 本庁舎3階 第一会議室

3 出席者 <報道機関>

朝日新聞社 南相馬支局(南相馬記者クラブ会員)

NHK 南相馬報道室(南相馬記者クラブ会員)

河北新報社 南相馬支局(南相馬記者クラブ会員)

読売新聞社 南相馬通信部(南相馬記者クラブ会員)

福島民報社 南相馬支社(南相馬記者クラブ会員)

福島民友新聞社 相双支社(南相馬記者クラブ会員)

みなみそうまチャンネル

計 7 社

<市側>

市長 林副市長 松浦副市長 教育長

小高区役所長 鹿島区役所長 総務部長 復興企画部長

市民生活部長 健康福祉部長 こども未来部長

経済部長 経済部中目理事 経済部笹野理事

建設部長 総合病院事務部長 教育委員会事務局長

農政課農業振興係長 農政課販路拡大担当係長

計 19 人

(司会進行)秘書課長

(会議記録)秘書課広報広聴係

【市政報告】

皆さんおはようございます。お集まりいただきありがとうございます。

10月となり、秋の深まりを感じられる季節となりました。記者の皆様には、秋のイベントをはじめとした様々な出来事について、取材いただき、改めて御礼申し上げます。

実りの秋、文化の秋、スポーツの秋などと言われていますが、市内でも様々な動きがございます。

実りの秋としては、「スマート農業」の実証が行われております。コンバインの自動運転による稲刈りや収穫と同時に食味の自動判定や収穫量が瞬時に分かる最先端の農業が市内で始まっております。

文化の秋としては、市内小中学校において文化祭や音楽祭が実施され、先日は小高の月あかりコンサートや、市内出身者の演奏者等によるコンサート等が行われて

おります。

スポーツの秋としては、各種市長杯を始め、大会が目白押しですが、例えば全英女子オープンを制したプロゴルファーが使っていたゴルフシャフトが南相馬市内の会社で作っているシャフトであるという話題がありました。また、今井選手については、今回のMGCではオリンピック決定になりませんでした。引き続き努力するということでございますので、市としても応援して参りたいと思います。

そうした様々なスポーツイベントにも南相馬にゆかりの人や物が関係しているということで色々なことを感じているところです。

それでは、前回の記者会見から最近までの出来事についてご報告申し上げます。

まず、台風15号についてです。

9月9日未明に上陸した台風15号で、特に関東地方は甚大な被害に遭われたということで改めてお見舞いを申し上げる次第であります。

南相馬市としても、東日本大震災からの復興支援として応援の派遣職員を受けておりました千葉市、成田市へ9月13日に若干ではありますが、支援物資を送らせていただいたところでもあります。

家屋の修復が長期化する恐れがあると聞いております。1日も早い再建をお祈りしております。

次に、第4回市議会定例会についてです。

9月19日に閉会した第4回市議会定例会において、議案26件について議決を賜りました。また、平成30年度決算議案15件は決算審査特別委員会で継続審査することとなりました。

それぞれ委員会、議会で様々なご提言等も受けておりますので、今後の市政運営に反映してまいります。

次に、市敬老会についてです。

小高区は9月16日、鹿島区は9月29日に、9年ぶりとなる市各区の敬老会を開催したところです。なお、原町区については10月14日に開催を予定していますので、ぜひ皆様にも取材等いただけるとうれしく思います。

次に、内閣改造に伴う話題についてです。

9月18日に田中復興大臣始め、横山復興副大臣、更にはその後も牧原経済産業副大臣、あるいは大臣政務官など様々な方々が南相馬市にお越しいただき、福島口ポットテストフィールドをはじめ、復興状況をご覧いただいている状況です。

次に、(仮称)小高スマートインターチェンジについてです。

9月27日に国の新規事業化の採択をいただくことができました。また、本日、定例記者会見後には、東北地方整備局磐城国道事務所長が来庁され、国土交通大臣からの許可書をいただける予定です。

関係者の皆様に御礼申し上げますと共に一日も早い完成を目指して引き続き頑張

って参りたいと思いますので、皆様方のご理解、ご協力を賜ればありがたく存じます。

次に、福島ロボットテストフィールドの開所についてです。

9月30日に研究棟が開所となり、10月26日に開所式が行われます。

研究棟には既に第一次となる9団体が入居しておりますが、更に増設が県議会でも認定されたということでもあります。

また、研究棟内の簡易計測室も利用が開始されたところでもあります。

次に、市内医療人材派遣制度についてです。

10月1日から市内の医療人材派遣制度の第一号として、市立総合病院の職員を大町病院へ3ヵ月間、派遣することとなりました。

厳しい医療人材の中ではありますが、こうした取り組みを行いながら、少しでも医療、介護の安定に向けて取り組んで参りたいと思います。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

まず、南相馬市産の米についてです。

南相馬市の米の作付面積は年々増加し、今年は震災前の約55%まで回復したということで、営農再開は着実に進んできております。

こうした流れの中で、先行して、小高区の米を使ったアイリスオーヤマのライスパック販売などの動きもありましたが、今般、市でも「福島産の米」ということに加えて「南相馬産の米」ということに着目し、特に3点、南相馬市産の米ということでアピールしてまいりたいと思います。

1点目は、南相馬市の米を使用したお弁当についてです。

昨年に続き、小高産業技術高等学校の生徒が考案した弁当がイオン株式会社から販売され、その弁当に南相馬市の米を使用する予定です。

2点目は、南相馬市産「天のつぶ」の発売についてです。

南相馬市産米と銘打った精米を量販店用の商品として販売するのは今年が初めてとなります。

今後は販売と共に、ふるさと納税の返礼品などへ活用して参りたいと思います。

3点目は、食文化交流事業「せかいむすび」での南相馬市産米の使用についてです。

ホストタウン相手地域である台湾産の食材と南相馬市の米を使ったおむすびを考案し、今後別途、完成披露を行う予定となっております。

詳細については、のちほど市民生活部長と経済部理事より説明させていただきます。

次に、市立中央図書館の10周年記念事業についてです。

今年の12月12日に市立中央図書館が10周年を迎えることから、市では図書館にちなんだ様々なイベントを企画しています。

詳細については、のちほど教育委員会事務局長より説明させていただきます。

次に、外国人労働者の活躍推進に関する取り組みを2点お伝えします。

1点目は、本日16時30分からとなりますが、第1回南相馬市外国人活躍推進協議会を開催いたします。

協議会では、市内事業所や関係団体の皆様と外国人が活躍できる町の在り方について具体的な議論を進めて参ります。

2点目ですが、10月16日に日本語学習講座の閉講式を行います。

閉講式の詳細については、のちほど経済部長より説明させていただきます。

次に、企業誘致に向けた取り組みについてです。

10月30日に、東京都で市主催の南相馬市ロボット産業セミナーを開催します。

このセミナーは、福島ロボットテストフィールドの活用法や地元自治体の在り方、ロボット関連産業を支える企業活動、地域再生の取り組みなどについて紹介するものとなります。

また、翌31日には、同じく東京都で福島イノベーション・コースト構想推進機構と県主催による企業立地セミナーが開催される予定で、そちらにも市として展示ブースを出す予定です。

南相馬市ロボット産業セミナーの詳細については、のちほど経済部理事より説明させていただきます。

次に、市表彰式についてです。

11月3日に、令和元年度の南相馬市表彰式を開催します。

今年度は、自治、保健福祉、消防防災分野において、特に功労のあった8名の方々が受章となります。

詳細については、のちほど総務部長より説明させていただきます。

次に、秋のお祭りについてです。

主なイベントを日付順で紹介しますと、小高区では10月19、20日に、「小高区文化祭・おだか秋まつり」を、鹿島区では10月19日()に「かしま産業まつり」を、11月3日には原町区「あきいち2019」をそれぞれ開催します。

特に原町区の「あきいち2019」では、今年度、ホストタウン交流の相手である台湾のシンガーソングライターの方にステージ出演いただく予定です。

各イベントの詳細については、のちほど両区役所長並びに経済部長より説明させていただきます。

私からの報告は以上です。各部長による報告のあと、皆さんからのご質問をお受けいたします。

かしま産業まつりの開催日ですが、正しくは10月19、20日の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

【各部からの報告】

小高区役所

- ・令和元年度小高区文化祭事業概要

鹿島区役所

- ・令和元年度かしま区産業祭事業概要

総務部

- ・令和元年度南相馬市表彰について

市民生活部

- ・食文化交流事業「せかいむすび」について

健康福祉部

- ・令和元年度南相馬市障害者差別解消法講演会の開催について
- ・南相馬市地域医療提供体制整備補助金の二次公募について

経済部

- ・令和元年度産 南相馬市産米の商品化 について
- ・外国人労働者日本語学習講座 閉講式の開催概要について
- ・あきいち2019事業概要
- ・令和元年度第73回相馬野馬追振興秋季競馬大会開催概要
- ・令和元年度南相馬市ロボット産業セミナーの開催について

教育委員会

- ・中央図書館開館10周年記念事業の開催について

【質疑応答】

質問1：

お米の商品化について、今年度及び震災前の作付面積、商品化されるお米の値段、今回の南相馬市産米として売ってお米の産地に小高区が入っているかを教えてください。また、相馬農業高校の生徒が作ったお米は試食用で、販売はしないという認識でよろしかったでしょうか。

回答1：経済部理事

米の作付面積ですが、今年度2,740ヘクタールで、震災前の作付面積は約5,000ヘクタールとなっており、現在は約55%まで回復している状況です。

商品の価格については、各店舗で決定することとなります。

また、お米の産地についてですが、小高区の米は含まれています。こちらを含めて、南相馬市産米として販売します。

最後に、相馬農業高校の生徒が作ったお米についてですが、こちらは別商品として2kg入りの袋で販売する予定です。

質問2：

南相馬市障害者差別解消法講演会の開催についてですが、タイトルの「障害者差別解消法講演会」の「がい」は漢字表記となっています。法律の名前がそうになっているからでしょうか。

回答2：健康福祉部長

ご推察のとおりです。法律の名称が漢字表記となっているため、そのようになっています。なお、市としては平仮名表記をしています。

質問 3 :

市産米の商品化について確認ですが、生産地は小高、原町、鹿島、全て入っているということでもよろしかったでしょうか。また、発売日を教えてください。

最後に、市単独で南相馬市産の米が販売されるということで、市長のお気持ちと期待することなどお聞かせください。

回答 3 :

< 経済部理事 >

生産地としては3区全て入っています。

< 農政課農業再興推進係長 >

市産米は10月26日、27日にジャスマールで開催されるJA祭りで先行販売し、その後は市内量販店での販売を予定しています。

回答 3 : 市長

震災以降、市内産の米を福島産の米として販売再開できたことや、小高区でアイリスオーヤマさんに米を販売いただいたことなどがあり、喜んでおりましたが、これに加えて、南相馬市産と名前を打って市内産米を販売できるようになったということは大きな前進だと思っています。

今後はふるさと納税での活用も考えていますが、おいしいと思っていますので、ぜひ皆さんに紹介できればと思っています。

質問 4 :

市産米自体は26日からJAまつりで先行販売され、その後は県外、県内などこういったエリアで販売されていくのか教えてください。

また、市長におかれましては、学校給食再開の際にも実際に食べられていると思いますが、味の特徴や、どういうところがおいしいか、農家さんの思いなどについて、市長のお言葉をお聞かせください。

回答 4 : 経済部理事

今後の販売や取扱いについては、基本的に希望する店舗から申し出を行っていただく形となります。

回答 4 補足

< 農政課農業再興推進係長 >

ジャスマールでは27日以降も販売いただく予定です。

また、市内小売店には順次販売を拡大していくようお願いしているところです。

今回の取り組みは、市民の皆様にも南相馬市産の米がちゃんと流通していることをわかっていただき、地産地消を広げていくものとなりますので、まずは市内の小売店を中心に販売していただく予定です。

その上で、順次、規模を拡大していければ良いと考えています。

イオンで販売される弁当は、ほっき飯をメインとして小高産業技術高校の生徒さんに考えていただきました。こちらは、ただのほっき飯ではなく、ほっき飯ちらしということでやっていただき、見栄えや見た目の色合いなどに気を遣い、菅野漬物食品さんの相馬のきゅうり漬けや、いか人参など南相馬市ならではのメニューとなっています。

また、高校生にメニューを考えていただく中で、ほっき飯のいなりというメニューも出てきて、本来であれば一つの商品だけを販売する予定だったのですが、こちらのメニューも捨てるがたいということもあり、イオンさんに特別にお願いして、2種類となるようにしていただいております。こちらにも相馬のきゅうり漬けが入っています。

10月10日には、小高産業技術高校の生徒達が、市長へ弁当の発売報告を行い、試食をしていただくこととなっています。また、当日は記者の皆様分の弁当を用意しますので、ぜひ、皆様にも味わっていただければと思います。

自分たちも高校生と一緒にワークショップに入りながら何回か試食を重ねてまいりましたが、食べた感じはすごくおいしく、自信を持ってお届けできる品質となっています。ぜひ、皆様10月10日12時からの小高産業技術高校で市長への発売報告会と試食会へ取材にきていただくようお願いいたします。

< 農政課販路拡大担当係長 >

次に南相馬市産天のつぶについてです。

「できたよ！南相馬市の新米」ということを表示して販売します。

さきほど申し上げましたとおり販売取扱店舗については市内のお米を取り扱っている小売店を中心に販売させていただく予定で、ただ今各店と品揃えについて交渉中となります。

回答4：市長

今年のコシヒカリ、天のつぶ、もち米、試食させてもらいました。

新米の味は格別です。炊き立てのご飯だけで、おかずも要らないぐらいです。醤油だけでもいいのですが、卵を乗せて食べるのも最高です。

今は冷蔵や真空パックなどの技術が進歩して、年中おいしくいただけ、春でも夏でも新米と変わらない米を味わうことができますが、新米の香りやもちもち感は格別です。

皆様にはぜひ、弁当もそうですが、ご飯だけでもおいしいので、お召し上がりいただければと思います。

質問5：

地域医療提供体制整備補助金の二次公募について、一次公募の応募状況と、新規で病院を建てる人と、改修する人のどちらが多いかお伺いしたいと思います。

また、各區で補助率は変わるのか、皮膚科が募集診療科として新規追加となった理由も教えてください。

回答5：健康福祉部長

今年度の一次募集については、市内医療機関から1件申請が出されており、現在処理中となります。新設、改修どちらとも対応しておりまして、補助額は対象経費の1/2で、上限は5,000万円ということになっています。

過去に市内の整形外科開業で1件申請があり、これまでで合計2件の申請があり、補助率は市内一律となります。

また、募集診療科の新規追加については、今年の5月に小高で皮膚科をやっていた開業医が閉院したということがあり、医師会と調整した結果、皮膚科も新規に追加することとなりました。

回答5 補足：市長

今回の公募は市の補助となっており、市内全域が対象となります。これ以外に、避難指示区域内の医療機関であれば別途県の補助があります。

質問6：

せかいむすびについてですが、今後さらに改良を加えるということは、まだ改良中ということでしょうか。

回答6：市民生活部長

レシピについては資料にあるとおりこちらの3種類です。現在は、更においしさを増すための工夫を進めているところです。

質問7：

復興「ありがとう」ホストタウンについて、他の国との交流予定などがあれば教えてください。

回答7：市民生活部長

今回のせかいむすびは台湾との交流となりましたが、他のホストタウンである韓国、アメリカ、ジブチにつきましても、それぞれ交流を深めようと考えています。

取り組みとしては、来年度オリンピックが終わった後、選手に南相馬市へお越しただいて、選手と地元の子供達との交流を深めることなどを考えているところです。

実施時期については、復興「ありがとう」ホストタウン事業が、事前に合宿などを招致するものではないことから、オリンピック終了後に行う予定です。